



日本ブラインドマラソン協会

JBMA 会報

発行所

認定特定非営利活動法人 日本ブラインドマラソン協会

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番8号 本郷朝風ビル5F

ホームページ：http://www.jbma.or.jp/

TEL/FAX：03-3814-3229 E-mail：info@jbma.or.jp

発行責任者：澤木 啓祐 / 編集責任：事務局

新年明けましておめでとうございます。 本年も協会活動へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

会長挨拶

会報『絆』第139号の発行に当たりご挨拶を申し上げます。会員の皆さまには、良き新年をお迎えになり、既にそれぞれの目標に向かい挑戦の日々を過ごされていることと存じます。

本年は、平成最後の年、5月1日には改元を迎え、社会においては新たな時代が幕を開ける節目の年となります。

私も協会の歴史を振り返りますと、平成の30年間は協会創設の目的を礎に、とりわけ大きな成長を遂げた飛躍の時代であったと考えます。

その締めくくりとなった昨年は、10月に大阪長居において「第21回全国視覚障がい者駅伝大会」、12月には主催を協会に戻し「神宮外苑チャレンジフェスティバル第36回JBMAユニファイドラン」を初めて明治神宮野球場に会場を移して開催し、報知新聞社、特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟のご共催を得て、盛会のうちに終えることができました。

特に、神宮大会では多くの視覚障がい者、知的障がい者ランナーを含む、1300人を超えるランナー・伴走者に参加いただき、真に「障がい者スポーツを通してノーマライゼーション社会の実現を目指す」とする協会目的に適う意義のある大会にすることができました。

研修・普及事業においても、年5回の協会主催の研修事業に加え、全国から寄せられた伴走者養成の協力依頼に対しても積極的支援し、各地にブラインドマラソンの意義と伴走ボランティアの重要性について理解を深めていただき、主催者からは多くの感謝の声が寄せられました。

また、選手強化事業では、2020東京パラリンピックでのメダル獲得を最大の目標に、多くの大会への挑戦や強化合宿を通して、着々と成果を積み上げてまいりました。



新年練習会風景

さて、冒頭にも述べました節目の年となる本年は、翌年に2020東京パラリンピックの開催を控え、その対策、準備においても重要な一年となります。社会においても2020東京大会開催への機運が高まり、障がい者スポーツに対する関心や理解もますます深まることとなります。幸いにも昨今、協会の事業活動に對しまして、ご協賛企業・団体さまをはじめ多方面から幅広いご支援、ご協力を頂戴できるようになっていきます。

協会はこちらのご支援への感謝を忘れず、目的実現に向かい責任と自覚を持って行動しなくてはなりません。その原動力は、スポーツを愛する障がい者の皆さまに常に寄り添える取り組みに専心することと尽きると考えます。

本年も、多くの協会事業を計画しその実践に腐心してまいります。協会事業への皆さまの変わらぬご指導・ご支援をお願いいたします。新しい時代の幕開けが、会員はじめ多くの皆さまにとって、幸多き輝かしい一年となりますようお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

新年練習会

平成最後の新年走り初めとなった1月の代々木公園練習会は、13日恒例のアクリスインターナショナルジャパンさんとの合同練習会として開催されました。降雪が心配された天候も、参加者の熱意で青空が広がり、160名を超える大集団での開催となりました。

初参加の15名の皆さんを加え、それぞれがランニングを通じて交流し、新年の楽しいひと時を過ごしました。

また、この後有志による合同の新年会が開催され、お互いの親交を深めることができました。



初参加者の伴走体験

大会行事報告

神宮外苑チャレンジフェスティバル 第36回J BMAユニファイドラン

昨年12月16日、協会の一大イベント「神宮外苑チャレンジフェスティバル第36回J BMAユニファイドラン」が、初めての会場となった明治神宮野球場を舞台に開催されました。

特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟、報知新聞社の共催をいただき、運営を当協会に戻し、関東学生陸上競技連盟を中心とした、多くの学生ボランティアの方に支えていただく大会運営となりました。



神宮球場を走る



視覚障がい者113名、知的障がい者43名のランナーに87名の伴走者を加え、総勢1358名が、10kmラン、5kmラン、5kmウォークの3種目に分かれて挑戦、お互いに励まし、譲り合いながら、ノーマライゼーションの精神にふさわしいレースを展開しました。

視覚障がい者の部 成績上位者一覧

10km視覚障がいの部 男子 伴走あり

39歳以下伴走あり

(順位/記録/選手/都道府県/伴走者)

- 1 0:43:55 村上 拓也 東京都 阿部 拓也
2 0:50:16 青沼 城太郎 東京都 立花 裕之
3 0:52:01 小畑 公志 埼玉県 饗庭 いづみ
4 0:57:33 渡辺 一興 東京都 滝澤 秀樹
5 0:59:21 大高 翼 茨城県 佐藤 俊夫

40・50歳代伴走あり

(順位/記録/選手/都道府県/伴走者)

- 1 0:37:10 池永 敦 東京都 小田 俊平
2 0:43:37 大岡 義博 東京都 後藤 真志
3 0:46:04 菊島 昌保 東京都 久保 光法
4 0:46:53 田中 慎児 東京都 加藤 健次
5 0:48:49 八木 陽平 東京都 勝又 圭一

60歳以上伴走あり

(順位/記録/選手/都道府県/伴走者)

- 1 0:47:33 小野寺 正 神奈川県 瀬田 曜一
2 0:48:30 小堀 清房 栃木県 吉澤 達也
3 0:50:26 保科 清 長野県 篠原 芳紀
4 0:59:35 鈴木 義美 埼玉県 平野 友善
5 1:00:03 菊池 正光 福島県 安田 亘

10km視覚障がいの部 男子 伴走なし

39歳以下伴走なし

(順位/記録/選手/都道府県)

- 1 0:38:01 勝丸 真至 東京都
2 0:52:42 常松 泰弘 東京都
3 1:00:39 西島 歩 東京都

40・50歳代伴走なし

(順位/記録/選手/都道府県)

- 1 0:39:36 南 宙史 福島県
2 0:48:43 吉田 英世 茨城県
3 0:50:50 花山 明弘 東京都
4 0:55:08 新井 啓介 神奈川県
5 1:11:09 荻原 康充 神奈川県

60歳以上伴走なし

(順位/記録/選手/都道府県)

- 1 0:56:32 福地 和彦 静岡県
2 0:57:23 兼目 忍 栃木県
3 0:57:42 飯沼 和脚 東京都
4 0:58:04 斉藤 哲雄 茨城県
5 1:03:33 谷口 久光 千葉県

10km視覚障がいの部 女子 伴走あり

39歳以下伴走あり

(順位/記録/選手/都道府県/伴走者)

- 1 0:54:47 小野 沙織 東京都 奥山 吉秋
2 1:09:28 渡辺 美枝 東京都 海老塚 一裕
3 1:24:59 石田 萌果 東京都 岩崎 茜

40・50歳代伴走あり

(順位/記録/選手/都道府県/伴走者)

- 1 0:57:53 市川 絹子 神奈川県 市川 遼
2 0:59:43 石川 美紀 埼玉県 山本 光洋
3 1:00:49 金谷 節子 群馬県 宮崎 正法
4 1:03:55 小林 祐子 東京都 青柳 健司
5 1:03:57 高橋 しのぶ 東京都 山口 陽子

60歳以上伴走あり

(順位/記録/選手/都道府県/伴走者)

- 1 0:51:01 林 かよみ 大阪府 杉村 純一
2 1:02:47 武田 光代 千葉県 市木 知宏
3 1:05:12 石井 喜美江 東京都 高橋 里香子
4 1:08:05 和泉 俊子 群馬県 荒木 浅枝
5 1:13:38 長澤 伸子 千葉県 田口 香織

10km視覚障がいの部 女子 伴走なし

39歳以下伴走なし

(順位/記録/選手/都道府県)

- 1 1:09:53 鈴木 翔子 東京都

40・50歳代伴走なし

(順位/記録/選手/都道府県)

- 1 1:01:09 小林 貴子 群馬県

5km視覚障がいの部 男子 伴走あり

39歳以下伴走あり

(順位/記録/選手/都道府県/伴走者)

- 1 0:18:41 鈴木 卓 新潟県 奥村 直樹
2 0:19:45 熊本 弘樹 東京都 白川 魁星
3 0:22:21 三上 直人 東京都 長澤 豊
4 0:50:47 近藤 真生 東京都 水場 勲

40・50歳代伴走あり

(順位/記録/選手/都道府県/伴走者)

- 1 0:37:00 松井 俊貴 神奈川県 牧野 洋子

60歳以上伴走あり

(順位/記録/選手/都道府県/伴走者)

- 1 0:33:14 村田 清司 東京都 平松 礼子
2 0:39:55 細川 一 東京都 塩坂 宏

5km視覚障がいの部 女子 伴走あり

40・50歳代伴走あり

(順位/記録/選手/都道府県/伴走者)

- 1 0:26:10 齋藤 美智能 千葉県 井上 淑江
2 0:30:27 古川 雅代 東京都 杉田 将生
3 0:30:50 椎原 直子 東京都 後藤 和夫

60歳以上伴走あり

(順位/記録/選手/都道府県/伴走者)

- 1 0:31:29 高澤 節子 東京都 山崎 ひろみ
2 0:39:43 一ノ瀬 ヨシ 福島県 小針 勉
3 0:39:44 宮島 敬子 東京都 山田 知夫

5km視覚障がいの部 男子 伴走なし

39歳以下伴走なし

(順位/記録/選手/都道府県)

- 1 0:18:22 太田 考紀 宮城県
2 0:30:13 澤木 雅希 東京都

40・50歳代伴走なし

(順位/記録/選手/都道府県)

- 1 0:21:37 駒崎 広幸 埼玉県
2 0:23:45 伊藤 栄次 千葉県
3 0:26:10 吉木 功 神奈川県
4 0:26:38 伊藤 博正 茨城県
5 0:27:43 坂之下一郎 佐賀県

60歳以上伴走なし

(順位/記録/選手/都道府県)

- 1 0:32:22 藤田 晃 東京都

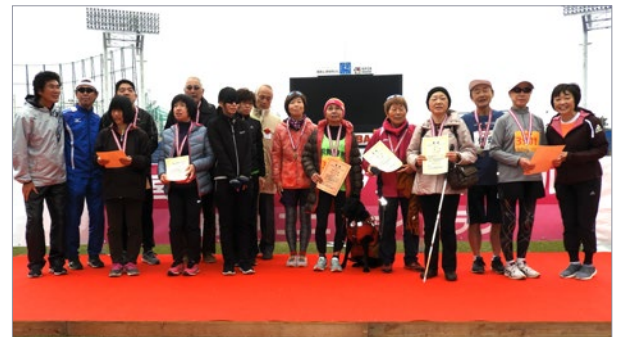
5km視覚障がいの部 女子 伴走なし

39歳以下伴走なし

(順位/記録/選手/都道府県)

- 1 0:19:37 松本 光代 埼玉県

ランナーの皆さんは、鈴木選手の歩く速さを直に体験して驚いたり、増田さん、中山さん達にエールを送られ、表彰でのプレゼンターとして共に記念写真にのびていただいたりして、記憶に残る大会になったようです。
開催にあたり、特別協賛企業としてご支援いただいた、株式会社明治様、株式会社新昭和様はじめ、多くの企業・団体の皆さまにも感謝を申し上げます、大会の報告といたします。
なお、この大会当日の様子は、報知新聞12月18日号にも紹介されました。関連記事の詳細は、協会ホームページでご覧ください。



表彰式・ゲストとの記念写真

OSAKA EKIDEN in 長居 兼第21回全国視覚障がい者駅伝

10月21日(日)大阪ヤンマースタジアム長居及び長居公園周回コースにおいて、「OSAKA EKIDEN in 長居 兼 第21回全国視覚障がい者駅伝」を、盲学校6チームを含む全国51チームの参加を受けて開催しました。

当日は、台風による中止の昨年とは大きく異なり、晴天に恵まれた最高のコンディションの中、ゲストチームと競いあいながら和気あいあい、レースを満喫する大会となりました。

視覚障がいの部では藪久ランナーズ(1時間15分10秒)、一般の部ではWindRun40(1時間12分56秒)、混成の部ではチームWindRun30(1時間17分16秒)がそれぞれ優勝、盲学校チームでは東京から参加した筑波大学附属視覚特別支援学校が障がい者の部で総合4位にあたる1時間26分36秒で快勝しました。

ゲストランナーにはソウル・バルセロナの両オリンピックで4位に入賞した中山竹通さん、アトラクタパラリンピックで日本人初のマラソン金メダルを獲得した柳川春己さん、リオパラリンピックで銀メダルを獲得した道下美里選手、同じくリオ3種目入賞やマラソンワールドカップで金メダルの和田伸也選手が登場、開会式での道下選手の「楽しく走りましょう!」の掛け声に大いに会場が沸き、レース後の伴走体験会に至るまで、大いに盛り上がりを見せた大会となりました。

なお、本大会はスポーツくじ助成事業として開催されましたが、特別協賛企業の株式会社ヤマダ電機様、大会主管をお願いした大阪陸上競技協会はじめ、長居わいわい、大阪成蹊大学等多くのボランティアの皆さんにも支えていただく大会となりました。



ゲストランナー紹介



タスキリレー「たのんだよ!」

チーム表彰

視覚障がいの部		
順位	チーム名	総合タイム
第1位	藪久ランナーズ	1:15:10
第2位	コーベパール	1:18:11
第3位	わーわーず弾丸	1:23:37
第4位	チーム賀茂フラージュ	1:28:34
第5位	わーわーず真田丸	1:29:47
第6位	福井楽障クラブB	1:31:41

一般の部		
順位	チーム名	総合タイム
第1位	WindRun40	1:12:56
第2位	楠神	1:14:08
第3位	滋賀銀行	1:23:49

混合の部		
順位	チーム名	総合タイム
第1位	WindRun30	1:17:16
第2位	公社ランナーズ	1:35:20
第3位	熱血	1:41:19

盲学校の部		
順位	チーム名	総合タイム
第1位	筑波大学附属視覚特別支援学校	1:26:36
第2位	大阪南視覚支援学校C	1:36:30



区間賞

視覚障がいの部			
区間	チーム名	選手・伴走者	総合タイム
1区	コーベパール	谷口 真大 (伴走者: 服部 孝志)	24:25
2区	わーわーず弾丸	福場 秀和 (伴走者: 松井 一矢)	14:02
3区	わーわーず弾丸	大久保 孝之 (伴走者: 松本 藤秀)	13:20
4区	藪久ランナーズ	堀越 信司	19:19

一般の部			
区間	チーム名	選手	総合タイム
1区	WindRun40	安田 遊	22:55
2区	WindRun40	清原 誠	12:42
3区	楠神	橋本 怜央	11:59
4区	WindRun40	森田 隆史	23:23

混合の部			
区間	チーム名	選手	総合タイム
1区	WindRun30	夜久 幸希	22:39
2区	WindRun30	安田 智子	14:18
3区	WindRun30	石井 さやか	16:12
4区	WindRun30	古江 隆政	24:07

2019年JBMA主要行事日程

本年は、翌年に2020東京パラリンピックを控え、協会にとっては一層重要な年になります。皆さまの、参加、ご声援をよろしくお願い致します。

1月13日	新年代々木練習会始め
2月3日	第68回別府大分毎日マラソン
3月2日	第8回日産ふれあいロードレース
3月10日	第2回東京伴走者養成研修会
4月14日	2019かすみがうらマラソン
5月予定	定例総会・理事会
7月予定	第1回東京伴走者養成研修会
7月20・21日	ジャパンパラ陸上(岐阜)
8月25日	第32回北海道マラソン
9月14・15日(予定)	伴走者養成研修・視覚障がい者マラソン研修(宿泊)
9月21・23日(予定)	上級者伴走研修合宿
11月4日(予定)	第22回全国視覚障がい者駅伝(長居)
11月7・15日	パラ陸上世界選手権(ドバイ)
11月23日	第29回福知山マラソン
12月8日(予定)	第37回JBMAフニファイドラン(神宮)
12月15日	第50回防府読売マラソン(予定を含む)

第49回防府読売マラソン 兼 第19回日本視覚障がい女子マラソン 選手権大会

12月16日、山口県の防府市陸上競技場発着にて、防府読売マラソンが開催されました。当大会は「第19回日本視覚障がい女子マラソン選手権大会」として、フラットな走りやすいコース設計で、好タイムが期待されるコースです。本年もIPC登録選手が、T11とT13クラスの男女合わせて15名が参加し、昨年T12クラスの道下美里選手（三井住友海上）が世界記録を樹立したこの大会で、さらなる記録更新の期待がかけられていましたが、スタート前から冷たい雨が容赦なく降り注ぐ厳しいレース展開となりました。



スタートの様子



20キロ地点で伴走ランナーの交代を行う青木洋子選手

その結果、男子は1位2時間43分20秒の熊谷豊選手（三井住友海上）、女子は1位3時間02分11秒 道下美里選手（三井住友海上） 伴走：青山由佳・志田淳と低調な記録で終わりましたが、その中で、女子2位の青木洋子選手3時間13分36秒（NTTクラレティ）と3位の藤井由美子選手3時間16分45秒（びわこタイムーズ）が自己記録を更新したことは今後に期待が持てるレース結果でした。

今後の行事予定

第1968回別府大分毎日マラソン 兼 第19回日本視覚障がい男子マラソン 選手権大会

開催日 平成31年2月3日（日）
主催 九州陸上競技協会、大分県他
会場 別府大分毎日マラソン大会日本陸上競技連盟公認コース
種目 マラソン
その他 詳細は、大会ホームページをご覧ください。
<https://www.betsudai.com/>

第8回日産ふれあいロードレース

開催日 平成31年3月2日（土）
主催 日産自動車株式会社 テクニカルセンター
共催 日本ブラインドマラソン協会
会場 日産自動車テクニカルセンター構内（厚木市）
種目 2.4km・5km・10km いずれも視覚障がい者の部あり
参加料 障がい者の部は無料
その他 詳細は、大会ホームページをご覧ください。
<https://www.nissan-global.com/JP/CITIZENSHIP/ROADRACE/>

平成30年度第2回東京伴走者養成研修会

開催日 平成31年3月10日（日）
主催 日本ブラインドマラソン協会
会場 東京都障害者総合スポーツセンター（北区）
参加料 500円
定員 40名（先着順）
時間 9時受付 12時まで
その他 研修内容等、詳細は協会ホームページをご覧ください。
http://jbma.or.jp/news/news_event_info/bansotoky0201903/

かすみがうらマラソン 兼 国際盲人マラソン2019

開催日 平成31年4月15日（日）
主催 かすみがうらマラソン大会実行委員会
会場 茨城県土浦市河口運動公園陸上競技場
日本陸上競技連盟
国際陸上競技連盟、国際パラリンピック委員会公認コース
種目 フルマラソン・10マイル・5km
IPCの部はフルマラソンのみ
その他 詳細は大会ホームページをご覧ください。
<https://www.kasumigaura-marathon.jp/>

編集後記

平成30年は、会報の発行を含めて、計画した協会の主要事業を滞りなく終了し、中でも、協会主催の大阪長居の駅伝大会、12月の神宮外苑ユニファイドランを無事終えることができました。もちろん、過去最高の件数となる研修事業や、選手強化活動においても、多くの関係者、ボランティアの方々、そして個人会員並びに企業・団体会員の皆さまのご支援に支えられ成果を残せた一年でもありました。本年は平成最後の年、そして新しい年号に改元されます。いよいよ明年は2020東京パラリンピックを迎えます。平成31年、新年号元年が皆さまにも、協会にとっても一層充実した稔りある一年となることを願いつつ、本号の編集を終えます。